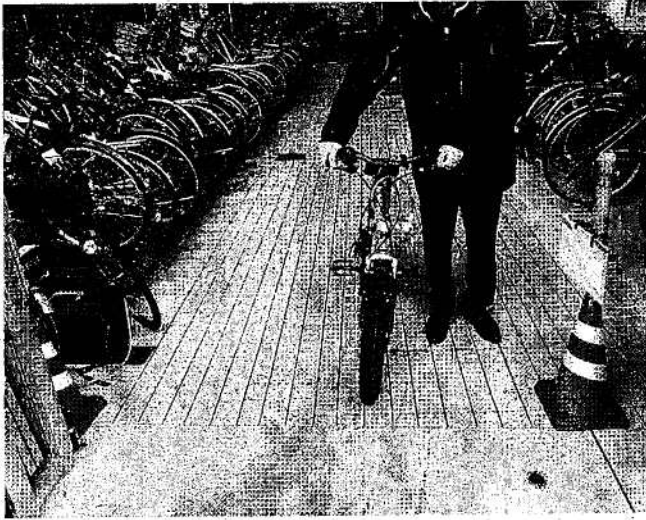


満車・空車 スマホ通知

駐輪場

アイペックがシステム

【富山】アイペック（富山市、東出悦子社長、076・438・0808）は、光電管センサーを用いて、自転車駐輪場の混雑状況を確認できるシステムを開発する。センサーで自転車の入退場をチェックし、満車が空車をスマートフォンで表示するシステムを構築。入場するまでスペースの空き状態が不明な駐輪場を使いやすくする。既に富山駅での実証実験を終えており、2021年度の商用化を目指す。



光電管センサー

入出場数チェック

富山駅の駐輪場でセンサーを使った自転車検出の有効性などを検証した

駐輪場の出入り口に自転車の入出場数を数えるゲートカウントスユニットを設置し、その数で駐輪台数を把握する。ゲートカウントスユニットには光の有無を調べる光電管センサーを採用。出入り口の門の脇に光を発信する仕掛けを取り付け、もう一方の脇に、その光を返す反射板を設置。センサーは、それで返ってくる光の有無を調べる。人や自転車が通れば、光が遮られるため、その数を数えれば駐輪状況を推測できる。門を通ったのが人

か自転車かは、光の遮られ方のパターンの違いで判別する。これで見える駐輪場の混雑状況がスマートフォンで知られるようになる。実証実験は富山市役所に進める「センサーネットワーク実証実験」事業の一環で実施した。同事業は富山市が整備した省電力広域無線網「LoRAWAN（ローラワン）」を活用して、都市機能の高度化を進めるも

実証実験ではセンサーを使った自転車の検出方法の有効性と、データを集約してスマートフォンに知らせるシステム構築の実現性を検証した。この実験結果からシステム構築が可能とわかり、商用化に踏み切る。

小

新型コナ

支援
エー
真
亜塩